

## 2017年度電気化学会北陸支部春季(新潟)大会

主催 電気化学会北陸支部

日時：6月15日(木)～6月16日(金)

場所：新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」

〒950-0911 新潟県新潟市中央区笹口1丁目1番地 プラウカ1・2階

URL：<https://www1.niigata-u.ac.jp/tokimate/index.html>

ナミックス株式会社

〒950-3131 新潟県新潟市北区濁川3993番地

URL：<https://www.namics.co.jp/>

プログラム：

第1日(6月15日)

第一部 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」

<受付> 16:00～16:30

<若手講演会> 16:30～17:30

「孔の中でおもしろい物をつくる」

板谷篤司先生 (帯広畜産大学)

<情報交換会> (夕食) 18:00～20:00

第2日(6月16日)

第二部 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」

<特別講演会> 9:30～11:00

「無機材料と電気化学 — 固体中でイオンが動くとはどういうことなのかな？」

佐藤峰夫先生 (新潟大学工学部)

<幹事会・昼食> 11:00～12:10

<バスでナミックス株式会社まで移動> 12:10～12:50

第三部 ナミックス株式会社

<特別講演会> 13:00～14:00

「大気下硬化可能な導電性銅ペーストの開発」

梶田昌志 (ナミックス株式会社)

<見学会> 14:00～15:00 ナミックス株式会社研究所見学

<バスで新潟駅へ移動> 16:00 新潟駅 解散予定

◎参加費 一般会員7,000円、学生3,000円

◎参加申込み Webサイトからお申し込みください。申込み締切り：5月31日(水)

◎Webサイト <http://www.eng.niigata-u.ac.jp/~denka2017/>

◎申込・問い合わせ先 新潟大学工学部・機能材料工学科 八木政行

(TEL. 025-262-6790, E-mail : [yagi@eng.niigata-u.ac.jp](mailto:yagi@eng.niigata-u.ac.jp))

## 電気化学会北陸支部 幹事会議事録

日時：平成29年6月16日(金)11:00～12:00

場所：新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」(新潟市中央区笹口1丁目1番地)

出席者：(支部長)米沢、(顧問)篠原、(幹事)宇野、八木、小松、伊藤、阿部、山口、坂井、鈴木、佐藤、小出、井上、金(以上、敬称略)

### 議題・報告

#### (1) 本会より支部関連事項の報告

米沢支部長より、資料にもとづき、3/7 定時総会、2/21 第33回理事会、3/7 第34回理事会、4/18 第35回理事会の報告がなされた。

- ・北陸支部の支部長と理事を米沢支部長が兼任する旨報告があった。
- ・電気化学会の会費の値上を今年中に実施対予定である旨報告された上で、現在、専門委員会及び研究技術懇談会に関する会費の取り扱い及び名簿管理に関する議論が進行中であり、未だ結論は得られていない状況の説明があった。現在対応案を検討中であり、本会としては次回の理事会でも議論を進め、できるだけ早期に結論を得た上で、会費値上げを実施したい意向であることの説明があった。

#### (2) 常議員と幹事の交替について

- ・日本曹達(株)二本木工場の代表者と幹事の交代、高岡工場の幹事の交代について報告があり、二本木工場の伊藤様と高岡工場の小松様からご挨拶をいただいた。
- ・三協立山(株)所属幹事が名簿上に2名(宇野様、野田様)となっているところ、宇野様は前支部長として常議員となる点の変更が必要との指摘があり、名簿の修正をする旨確認された。
- ・篠原先生から、ご自身が顧問となることおよび富山地域における支部活動の活性化のために、前会計幹事の富山大学の須加先生を幹事として継続してはどうかとの提案があり、これを承認した。
- ・富山大学阿部先生から、支部内幹事の数に関する適切な数や運営とのバランスなどについて、この機会に整理をしておいてはどうかという提案があり、次回の幹事会で議論することとした。

#### (3) 平成29年度北陸支部秋季大会(金沢)について

世話人である金沢大学の山口先生から実施計画内容の説明があった。この説明を元に、

- ・開催日について、11月2日(木)としたい旨提案があり、承認された。
- ・会場について、金沢大学構内で一般・若手講演会、特別講演会を行うこと、及びその後、バスなどで石川県青少年総合研修センターに移動し、懇親会及び表彰式、学生主体の秋の学校を、宿泊を前提に行うこととしたい旨の説明があった。
- ・各大学には学生の積極的な参加を促してほしい旨の要望があった。

#### (4) その他

##### ① 加藤記念賞受賞候補者推薦について

推薦の締切日(6月14日)までに支部内で推薦がなかったことで、今回は支部からは推薦なしとしたことを報告した。

##### ② 選挙管理委員会委員推薦について

本会からの各支部宛の選挙管理委員会委員推薦依頼について、支部長である米沢先生を推

薦した旨、報告があった。

③平成 30 年度支部春季大会・秋季大会について

春季大会については富山地区、秋季大会については福井地区による世話担当を予定していることの確認があり、担当地区の幹事は実施計画についての検討を適切な時期に開始して欲しい旨の依頼がなされた。特に秋季大会の場合は、福井地区で世話を担当するが、実施場所は同時期に全国大会が行われる金沢において、その会場の一部に設定する予定であることが説明され、確認された。

④関東支部「夏の学校」への学生派遣について

今年度も関東支部「夏の学校」への学生派遣支援を継続する予定であることが確認された。まずは、関東支部の同行事世話担当の先生にコンタクトを取り、関連情報の提供を依頼、得た情報を北陸支部内で共有していくことが確認された。

以上

## 平成 29 年度電気化学会北陸支部春季大会ならびに講演会記録

平成 29 年 6 月 21 日

電気化学会北陸支部

### 「若手の講演会」 (参加 41 名)

日時 : 6 月 15 日 (木) 16 : 30 ~ 17 : 30

場所 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」 (新潟市中央区笹口 1 丁目 1 番地)

「孔の中でおもしろい物をつくる」

板谷篤司先生 (帯広畜産大学)

若手研究者として、帯広畜産大学の板谷篤司先生より「孔の中でおもしろい物をつくる」のタイトルでご講演があり、参加者との議論および意見交換があった。ゼオライトに金属を付着し、イオン交換を行うことで、窒素や二酸化炭素ガスの吸着率が高めることが主な研究内容であった。特に「食を支え、暮らしを守る」というスローガンの基に研究を進みながら社会に貢献したいとお話は大変印象に残る内容だった。今回は、講演形式のこともあり、講演が終わった後に質疑など議論が行われた。全体のお話を聴いたことで良い点だと思うが、説明途中で議論ができないことは改善したいところでもあった。これからも、若い先生方、また「若い」と思っておられる大先生方に、より多くご参加頂き、この学術交流会を盛り上げるとともに、若手研究者の育成に繋げていきたい。



### 特別講演会 I (参加 43 名)

日時 : 6 月 16 日 (木) 9 : 30 ~ 11 : 00

場所 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」 (新潟市中央区笹口 1 丁目 1 番地)

「無機材料と電気化学—固体中でイオンが動くとはどういうことなのかな？」

佐藤峰夫先生 (新潟大学工学部)

新潟大学の佐藤峰夫先生より「無機材料と電気化学—固体中でイオンが動くとはどういうことなのかな？」のタイトルでご講演が行われた後、議論および意見交換があった。最初に、新潟と新潟大学を紹介した後、1) リチウム電極材料の構造変化の原因について、2) 蛍光体における分子動力学法による発光中心サイトの推定について、ご講演があった。独自の格子シミュ

レーション手法を用いたサイトエンジニアリング研究分野について紹介もあり、大変興味深い講演会となった。



### 特別講演会 II と企業見学会 (参加 31 名)

日時：6月16日(木) 13:00~14:00 (特別講演会)、14:00~15:00 (見学会)

場所 ナミックス(株) ナミックステクノコア (新潟市北区濁川3993番地)

#### 1. 「大気下硬化可能な導電性銅ペーストの開発」 梶田昌志 (ナミックス株式会社)

企業概要説明が行った後、1)導電性ペーストについて、2)プリントドエレクトロニクスについて、ご説明があった。特に導電性ペーストの一つである銅ペーストに関する研究成果については大変興味深い内容であった。

#### 2. 企業見学会

主力製品である絶縁材料と導電材料の研究開発現場のご紹介と、様々な分析装置のご紹介があった。材料開発から、プロセス、製品分析を可能とする十分な環境設備が整備されていると感じた。特にユニークな円形型建物内での生活と昼食の無料提供のお話は印象に残った。



以上